



特定非営利活動法人

ニッポン・アクティブライフ・クラブ 交野拠点

2024年度（第16回）

ナルク「いわふねクラブ」定時総会 議案書



ナルクの理念

自立し、社会に奉仕し、助け合う。

これが生きがいにつながる。

日 時 2024年 6月13日(木) 午前10時 ~

場 所 交野市ゆうゆうセンター 4F 多目的ホール

定時総会 次第

1. 開会の辞
2. 代表挨拶
3. 来賓紹介・挨拶
4. 議長選出
5. 議事

第1号議案	頁
(1) 2023年度 活動報告	1～5
(2) 2023年度 会計報告	6～7
(3) 2023年度 会計監査報告	7
質疑応答	

第2号議案	
(4) 2024年度 運営委員・監査・顧問(案)	8～9
ならびに活動の分類と担当(案)	

第3号議案	
(5) 2024年度 活動計画(案)	10～13
(6) 2024年度 収支予算(案)	14
質疑応答	

6. 議長解任
7. 閉会の辞

以上

(1) 2023年度活動報告

<総括>

今年度の目標は、活動をコロナ前の水準に戻すことでした。施設での活動は、新たなデイサービス施設でのサークル活動支援が開始されたことにより、日常的な活動についてはほぼ目標を達成できました。しかし、コロナやインフルエンザの感染者が出たことにより、活動休止が数回あったこと。季節的行事のスポット的活動(初詣・花見・夏祭り・クリスマス会・もちつき大会等)が、ほとんど再開されなかったことから、完全に元に戻ったとは言えません。全体的には苦しい一年でありました。

一方、イベントやサークル活動を積極的に取り組むという目標については、バスツアーを3年ぶりに実施することができました。また、新たに「映画を見る会」「カラオケ」「歌声広場」のサークルも立ち上がるなど、コロナ前以上の状況に戻ったのではないかと思います。

ただ、「得々キャンペーン」については思ったほどの成果は出ませんでした。今後とも皆様方のご協力で会員獲得を推進したいと思います。

1. 会員活動の促進

① 会員数は減少しました。

2023年3月末時点の会員数は238名でしたが、2024年3月末では225名となり、13名の減少となりました。内訳は、入会者7名、退会者は20名(ご逝去された方が6名、福祉施設入居4名、利用の必要がなくなった方等が10名)でした。残念ながらコロナ前の会員数から減少傾向にあり、歯止めがかからない状態です。

② 地域会の開催

地域会は世話人の方々が中心となり、身近な集まりやすい場所で顔を合わせ、交流を深めていただくために開催しています。特に日常的に活動に参加されにくい方々にお集まりいただけることを期待しています。声を掛け合って参加していただければと思います。

星田・藤が尾・妙見坂・妙見東地区は妙見坂自治会館で「元気アップ体操」。天野が原・私市・私市山手・森北・森南・寺・市外地区は「ミルキーウエイ」で昼食をしながら懇談会。星田山手・南星台地区は星田山手自治会館で「懇談会」。幾野・郡津・私部・私部西・松塚・倉治・東倉治地区は「喫茶店ピノキオ」で朝食会を開催されました。

なお、世話人会は、毎月定例的に事務所で、換気に気を付けて2回に分けて実施しました。

③ 活動意向調査の実施

拠点発足以来、毎年実施している「活動意向調査」を1月中旬、全会員対象(利用会員除く)に実施しました。現在活動している実態や、「こんなボランティア活動をしたい」「趣味を生かせる同好会で楽しみたい」など多くの活動意向が寄せられました。

次回以降もご質問、ご意見を記入していただきたいと思います。
調査票回収率は91%でした。お礼を申し上げます。集計した内容を運営委員会、世話人会及び各コーディネーター会議などで情報を開示し、具体的に会員の意向に沿った活動が出来るように活用しています。各コーディネーターから活動への依頼があった場合は、積極的に活動に参加していただくようよろしくお願いします。

④ 「絵手紙」の誕生プレゼント

80歳以上の独り暮らし会員の誕生日には、誕生季節に相応しい絵柄とひと言添えた会員手作りの「絵手紙」や「ちぎり絵手紙」をささやかな誕生プレゼントとしてお届けしました。現在お送りしている会員さんは 38 名です。運営委員等と顔を合わせたときに直接ご本人から喜びの声を聴かせていただきました。また、お礼のお手紙も事務所あてに届いています。

⑤ 各種イベントについて

会員の皆さんが楽しみにされていた総会後の BQ 大会に変えて会食をしながら「歌声喫茶」を実施しました。非常に好評でしたので継続したいと考えています。また日帰りバス旅行は「ホテルセイリュウ」への送迎。昼食・入浴・石切神社参拝・散策を実施しました。

全拠点一斉に行われる「ナルクデー」については4月21日に実施しました。また拠点独自に「ナルクデー2」として 10月23日にも環境美化とPR 活動をしました。今後も定例的に実施していきたいと思います。ご参加をよろしくお願いします。

⑥ 研修会

枚方拠点が実施する「コーディネーター養成講座」に大阪拠点、寝屋川拠点、四條畷拠点と共に参加しました。6名の方に参加していただきました。

例年実施している「車椅子講習会」は施設等からの要請が少なかったことから開催は見送りましたが、車椅子での支援が必要な場合、その都度少人数での実施を考えています。

⑦ ごきげんさんいわふね会の活動

感染防止対策を取りながら、毎月第 2 木曜日の午後を中心に事務所で開催し、健康に関すること、身近な悩みや生きがいに行っていることなどを気楽に話し合いながら親睦を深めました。8月は夏季休暇とし、毎月1回、年間11回開催しました。

2. 時間預託活動（年間の活動データはP5を参照）

時間預託活動(事務所当番等除く)は 1,783 点、前年比+231 点でした。デイサービス施設については、新たに「ほつま」でのサークル活動支援が開始されたが、他の施設で風呂上がりの整髪・ブローについては、施設でのコロナ感染者が出たため2週間休止。有料老人ホームでの活動もインフルエンザ感染者が出たため1ヶ月間2回にわたっての休止がありました。

家事支援と V2 活動については感染予防を徹底しながら、活動者、利用者の双方の相談の上活動を再開しました。

3. 奉仕活動（年間の活動データはP5を参照）

奉仕活動は、福祉施設での各種季節行事のスポット的支援活動、市・社協への協力、小学生の登下校時の安全見守り、交野保育園での伝承あそび、天野川を美しくする環境美化活動、そしてナルク「いわふねクラブ」運営のための各種支援活動を予定していましたが、運営にかかわる活動以外の活動は、休止している施設が多く、コロナ前の水準には程遠い状態と言えます。

2023年度の奉仕活動は 1,652 点、前年比+219 点でした。福祉施設で行われる各種季節行事支援については、未だ、多くの活動が中止となっています。本年は4年ぶりに「健康福祉フェスティバル」が再開されましたが、食べ物関係の出店は認められず、野菜については天候不順のため思い通りの商品の入手が困難と判断し販売中止としました。その中であって手作り作品と多肉植物については、例年通り会員の方々のご協力により多くの商品が集まり、また販売担当として協力いただき、好評のうちに終了しました。また、交野保育園での「伝承あそび」については、当初の計画通り10回実施しました。

4. 交野市民との交流活動

・山本交野市長との懇談会(24年2月)

三役が市役所を訪問し、約1時間懇談させていただき、ナルク活動について説明・報告し理解を深めていただきました。また、施策について詳しく説明していただき意見交換をしました。

・社協・地域包括支援センターとの定例会議開催(年間4回)

情報交換を通じ困っている高齢者の家事支援活動に繋げたり、各種出前講座にご協力いただきました。また、我々の活動に関係する専門職の方々との交流についても話し合いを行いました。

・委員委嘱

地域福祉活動に参画するためにナルク交野拠点に要請された委員

交野市社会福祉協議会評議員

交野市地域福祉計画推進審議会委員

交野市地域福祉活動計画策定・推進委員会委員

5. 文化・スポーツ活動

昨年までの8つの文化同好会と 2 つのスポーツ同好会に加えて、新たに「映画を見る会」「カラオケ」「歌声広場」が加わりましたが、全体の参加者は年間延べ 831 名 昨年に比べて 5 パーセントの減少でした。

各同好会ともに、共通する趣味をもたれたみなさんが集まりおしゃべりをする ことにも楽しまれました。各同好会の活動の様子は、毎月発刊の会報「いわふね」に掲載 しています。また、事務所にも掲示しています。ぜひ事務所にお立ち寄りいただき たいと思います。

6. 事務局活動

- ・事務所当番は、新たな会員さんに参加していただきました。ナルクを知る、会員を 知るよい機会にもなりますので、是非経験してみてください。
- ・活動会員から提出される各種活動報告書は、内容は的確で提出期限も守られ、それ により、会員管理、会計管理ともにより正確で迅速な事務処理が出来、会員からの 信頼を得るとともに拠点の質の向上につながりました。
- ・会報編集は、「いわふねクラブ」の活動を中心に身近な情報を分かりやすく、読みや すく提供することに努力してきました。6月号より 2 面建て紙面を4面建てにし、 新たにA3 サイズのコピー機を購入しカラー印刷としました。「写真がカラーにな って顔がよくわかる」「紙面が増えていろんな活動がよくわかる」等のお褒めの言葉 もいただいています。感想等を寄せていただきたいと思います。

2024年度運営委員・監査・顧問（案）

1. 運営委員および担当職務

代 表	戸田 十九一	
副 代 表	坂元 良子	佐藤 昌子
事務局長	大西 聰明	
運営委員	加藤 愛子	北村 順子
	田中 暁子	中井 吉和
	* 中内 博子	浜口 忠吉
	村田 ひさ子	渡辺 陽子

* は、新任運営委員

2. 監 査

北村 正一	竹村 恒臣
-------	-------

3. 顧 問

豊島 隆

<参 考>

地区世話人

星田地区	久保木 榮子 米谷 ユリ子	妙見坂地区 (妙見東地区)	稲垣 澤子
南星台地区	北尾 早代子	藤が尾地区	若松 桂子
私部地区 (梅が枝地区)	伊藤 繁子	倉治地区 (青山地区)	津村 芳男 田上 薫
星田山手①地区	井田 敏雄	天野が原①地区 (私部南地区)	杉下 栄子
星田山手②地区 (星田西地区)	山崎 喜久江	天野が原②地区	竹村 恵美子
幾野地区	大西 聰明	私市地区	渡邊 紀美子
松塚地区	加藤 千保子	森北・森南・寺地区	泉原 敏勝

2024年度 交野拠点活動の分類と担当 (案)

大区分	中区分	小 区 分		担 当	
1 時 間 預 託 活 動	11-1 会 員 相 互 扶 助 V 1	111 家事・介助・子育て支援 <リーダー> 渡辺 陽子 <サブリーダー> 坂元 良子 伊藤 繁子 田中 暁子 加藤 愛子	加藤	私部・梅が枝・向井田・森・寺	加藤愛子・森岡真子
			伊藤	幾野・郡津・松塚 倉治・神宮寺・青山	伊藤繁子・早川久代 飯田則幸・北村啓子
			渡辺	星田山手・星田西	渡辺陽子・北村順子・佐藤昌子
				南星台	北尾早代子・村田ひさ子
				星田/他	米谷ユリ子・梁地久美代・籠島恵子・西山伊佐子
			坂元	妙見坂・妙見東・藤が尾	坂元良子・若松桂子・戸田和子
	田中	天野が原・私市・私市山手	田中暁子・増田文子・奥田孝子		
	11-2 会 員 相 互 扶 助 V 2	112 庭・植木手入れ	井田 敏雄 谷口博美		
		113 ハウスヘルパー	若松 富士男 井田敏雄・谷口博美		
		114 送 迎	森岡 真子 谷口博美		
		115 パソコン指導	津村 芳男		
	12 福 祉 施 設 支 援 V	121 きんもくせいデイサービス	北村 順子 <サブ>中内 博子		
		122 天の川明星デイサービス	加藤 愛子 <サブ>渡邊 紀美子		
		123 そんぼの家 交野駅前	田中 暁子 <サブ>浜口 忠吉		
		124 そんぼの家 星田	村田 ひさ子 <サブ>渡辺 陽子		
125 デイサービス「ほつま」		戸田 十九一			
2 奉 仕 活 動	21 福 祉 施 設 支 援 V	211 きんもくせいデイサービス	野々村 節子 <サブ>佐藤 昌子		
		212 天の川明星デイサービス	加藤 愛子 <サブ>渡邊 紀美子		
		213 そんぼの家 交野駅前	田中 暁子 <サブ>浜口 忠吉		
		214 そんぼの家 星田	村田 ひさ子		
		215 デイサービス「ほつま」	戸田 十九一		
	22 子 育 て 支 援 V	221 子供安全見守隊	豊島 隆 <サブ>戸田 十九一		
		222 子育て支援	田中 暁子 <サブ>山下 満寿美		
	23 環 境 美 化 V	231 災害対応V	豊島 隆		
		232 天野川を美しくする会	戸田 十九一		
233 ナルクデー / 星の森之宮		田中 暁子 / 井田 敏雄			
3 文 化 ■ ス ポ ー ツ 活 動	31 文 化 活 動	311 折り紙の会	寺前 哲子 <サブ>山下 満寿美		
		312 布遊びの会	村田 ひさ子 <サブ>伊藤 繁子		
		313 囲碁の会	増田 博生 <サブ>渡辺 伊久夫		
		314 川柳の会	籠島 恵子 <サブ>山本 保子		
		315 健康麻雀の会	浜口 忠吉 <サブ>西本 敦子		
		316 歌の集い	若松 桂子 <サブ>渡辺 陽子		
		317 すずめのおやどの会	山本 保子 <サブ>山下 満寿美		
		318 手編みの会	山下 朝子 <サブ>住村 恵子		
		319 歌声広場	久保木 榮子 <サブ>中内 博子		
	320 映画を観る会	浜口忠吉 <サブ>伊藤 道子・北尾 早代子			
	321 カラオケの会	渡邊 紀美子 <サブ>土井 香			
32 ツ ス ポ ー ツ 活 動	322 ゴルフ	浜口 忠吉			
	323 ウオーキング	北村 啓子 <サブ>梁池 久美代			
4 会 員 活 動 促 進	41 会 員 活 動 促 進	411 世話人会	坂元 良子 <サブ>渡邊 紀美子		
		412 会員研修	渡辺 陽子・加藤 愛子・村田 ひさ子		
		413 イベント	田中 暁子・佐藤 昌子・戸田 十九一 <実行委員会>		
		414 地域会	坂元 良子		
		415 八十路会「幸楽会」	豊島 隆		
		416 ごきげんさんいわふね会	梁池 久美代・米谷 ユリ子		
5 事 務 局 活 動	51 事 務 局 活 動	511 事務局	大西 聡明・浜口 忠吉・渡辺 陽子		
		会員管理・システム管理	早川 嘉彦・田上 薫・渡辺 陽子		
		会 計	大西 聡明・坂元 良子		
		広報[会報・ホームページ]	<会報>大西 聡明 <ホームページ>浜口 忠吉		
		渉 外	豊島 隆・戸田 十九一		

【注】：この表で「V」は、ボランティアを意味する。

【第3号議案】

(5) 2024年度 活動計画(案)

ナルクの理念(自立・奉仕・助け合いで生きがい)を基本に置いた活動を行います。

★ 会員同士が積極的な声かけをして、つながりを深めよう

最近、「どうも体調がよくない。〇〇さんが入院されたようだ。手術されたと聞いていますよ。お亡くなりになりました。」このようなことを聞くことが多くなってきました。平均年齢80歳近くなった「いわふねクラブ」です。やむを得ないことかもしれませんが寂しいことです。私たちはボランティア活動をするために入会しました。しかし年々体力の衰えを感じ、活動回数が減ってきた方が見受けられます。

「いわふねクラブ」では会員皆さんが入ってよかったと満足されるように知恵を絞って、ボランティア活動以外に多くのメニューを企画し実行しています。地区会やコーディネーター会議などでも会議の前後の時間に、互いに困ったことや悩みについて話すことが多くなりました。役を持たれていない方でもイベントや地域会などで気になることを話してみてください。きっと解決することがあると思います。話すことで、気持ちが楽になると思います。

また、いろんな事情で参加できない方もおられるでしょう、そうした方に声かけをお願いしたいと思います。以前活動をしていたのに家庭の事情や体調によって活動が疎遠になっている方々に対して「楽しかったよ。もう一度一緒に行こうよ」と、顔を合わせた時や電話でお誘いしてあげていただきたいと思います。思い切って話してみる。聞いてあげる。そんな仲間でありたいと思います。一年間一度も顔を合わせなかったことのないようにしたいと思います。

★ 「発展プロジェクト」を全国の拠点の仲間と共に推進しよう

◎ 会員増強のツールとして「QRコード入りカード」を利用しよう

発展プロジェクトの一環としてQRコード入りのカードを作成します。今まで会員勧誘の主な方法は「ロコミ」が中心でしたが、このカードを使用することによって、スマホで「ナルク本部」「いわふねクラブ」のホームページへ簡単にアクセスできます。昨年の「得々キャンペーン」に引き続き会員勧誘をよろしく願います。

◎ ナルリンピックに積極的に参加しよう

今年11月15日(金)16日(土)2日間にわたって、天満橋にある「大阪ドーンセンター」をメイン会場として開催されます。これはナルク全拠点の連帯を表すための有意義なイベントであると思います。我々日常のボランティア以外に、自分自身の楽しみとして実践しているサークル活動を中心に発表するための場として計画されました。

- * 競いの場(グランドゴルフ、ボウリング)
- * 発表の場(書道、絵画、ちぎり絵、写真、短歌、俳句、川柳、手芸作品等)
(日本舞踊、フラダンス、民謡踊り、音楽の演奏、カラオケ、コーラス)
- * 繋がり場の場(ウオーキング)

また、直接参加されるだけでなく、応援・協力を通して連帯を深めたいと思います。今後、より具体化されると思いますので、その都度皆さん方にお伝えしたいと思います。

1. 会員活動促進

- 地区世話人の方々が中心になり、悩みごとの相談にのり、「安心のナルク」にしたいと思います。手配り時に互いに言葉をかけあうことが大切だと思います。また地域会については、アイデアを出し合いながら、よりナルク活動についての活発な意見交換の場としたいと考えています。昨年は、「朝食会」「昼食会」という新たな懇談形式を取り入れられた地域会が2か所で開催されました。日頃あまり活動してないので、参加はちょっと「ー」という方こそ、参加していただきたいと思います。同じ会員だからこそ話せることもあります。些細なことだと持っていることでも、解決策が見つかることもあるでしょう。「私もそう思うは」と、同意してくれることも多いと思います。顔を合わせて話し合うことから信頼関係が生まれるのだと思います。ぜひ参加していただきたいと思います。
- ・研修については、ボランティア活動のための車いす研修のみならず、我々にとって有意義な幅広い内容の講演会等も考えていきたいと思っています。
- 80歳以上のお一人住まいの方へ誕生日にお送りする「絵手紙」「ちぎり絵」については受け取った方から喜びの声を頂いています。作成者の努力に感謝しつつ今年度も継続します。
- バスツアーについては今年度も多くの方に参加していただけるような企画を考えたいと思います。
- 新春懇親会は好評でしたので、継続していききたいと考えています。出演者については、自薦他薦にかかわらず新たな方々に参加していただくようお願いします。

2. 時間預託活動

- 家事支援活動については、利用会員の減少と活動者の高齢化が課題となっている中で、活動者が楽しく生活支援全般にわたってのお手伝いができるよう、モチベーションを高めるための配慮しながら活動をしたいと思います。
- デイサービス施設への支援活動については、新たなデイサービス施設でのレクリエーション活動への支援が開始されました。今後(ちぎり絵-折り紙-布遊び-麻雀)以外にも広がればよいと思っています。以前から行っている風呂上がり後の整髪

については、施設の利用者さんと活動者双方が共に笑顔で明るくなれるような活動を心がけたいと思います。また、新たな活動者を確保することにより、より運用がスムーズになるようにしたいと思います。今後とも多くの方々の活動参加をお願いします。

－施設入居者さんのクラブ活動（ちぎり絵－折り紙－書道－麻雀－傾聴－合唱－買い物－散歩等）については、感染症（コロナ－インフルエンザ）の発生があれば急遽活動休止ということもあり得ます。感染予防が大前提ですが、収束することを祈りつつ、利用者、活動者双方の楽しみな活動にしたいと思います。また、活動内容については施設側の要望に配慮する形で実施します。

－「区分表－ボランティア2」(庭－植木の手入れ、自転車修理、水道の水漏れ、ホームヘルパー、送迎、パソコン等)の活動を活性化させるためには、活動者と利用者双方の要望内容のマッチングが不可欠です。コーディネーターや活動者の方々は出来るだけ要望に沿った活動を心がけていただいています。助け合い活動の趣旨を考えると今後とも積極的に利用していただきたいと思います。

活動の休憩中などにいろんな相談事を聞くこともあるとのこと。信頼関係があるからこそだと思います。「こんなことをしてほしい」「やってもらえると助かるな」と思った時には遠慮せずコーディネーターに相談していただきたいと思います。

3. 奉仕活動

「いわふねクラブ」の運営にかかる運営委員会・世話人会・地域会・コーディネーター会議・ケース会議等については、皆様方の協力をお願いします。

－各施設への定期的な花見の付添－夏祭りのお手伝いといったイベント支援については、施設側の要望に沿った活動になり、コロナ感染のみならず、インフルエンザ感染等にも左右されると思いますが、コーディネーターからの依頼があった場合には積極的に参加協力をお願いします。

－子育て支援－保育園での伝承遊びの指導については、高齢者に対する活動以上に感動する場面も多く、活動者にとって大きな喜びとなっています。今年度も引き続き行ってまいります。

－「健康福祉フェスティバル」は、昨年度再開されましたが、食べ物関係は許可されませんでした。今年は以前のようにコーヒサロンを再開できればと思います。当日までの作品作りや準備、当日の運営等会報で依頼しますので協力をお願いします。

－ナルク設立を記念して提唱された「ナルクデー」は、今後も継続して年間2回、清掃活動やPRを行います。多くの皆様方の参加よろしくをお願いします。

・環境美化については「天野川を美しくする会」等への取り組みを進めます。

－行政－他団体からボランティアの要請があった場合には、運営委員会で検討し参加したいと思います。

4. 文化・スポーツ活動

- ・昨年新たに「歌声広場」「カラオケ」「映画を見る会」が設立され、現在 13のクラブが活動されていますので、新たに入会されたい方は世話役の方に連絡してください。ボランティア活動だけでなく、自分自身の楽しみや趣味を生かし特技を伸ばす事も生きがいにつながると思います。

5. 事務局活動

- 事務局担当者は「いわふねクラブ」の活動を円滑に推進するため、的確な事務処理を行い、会員の信頼確保に努めます。
- 事務局当番は「いわふねクラブ」の活動の様子を知っていただく良い機会だと思います。コロナ禍以来、参加者数が減少しています、特に最近会員になっていただいた方に参加していただきたいと思います。『いわふねクラブ』の活動全体が理解されやすくなると思います。また、男性会員にとって数少ない活動の場ですので是非積極的な参加をよろしくお願いいたします。
- 「会報いわふね」は、活動やイベントなどをできるだけ早く、正確に、わかりやすく報告するとともに、行事等の予定を掲載し参加を促します。また、原稿については多くの方に書いていただきたいと思いますので、原稿依頼の際には、協力をお願いします。
- ホームページには、過去の会報やページ数の関係で会報に掲載されなかったイベント・行事の写真が多くあります。また、本部や他の拠点ともリンクしていますので、ぜひアクセスして活用してください。
- 地域福祉活動に参画するために要請された委員については、引き続き委嘱を受け活動します。

交野市地域福祉計画推進審議会

交野市地域福祉活動計画策定・推進委員会

交野市社会福祉協議会評議員会

輝く未来へ そして愛 (ナルクの歌)

- ♪ 今 はじまる 新たな生きる道
ひかり輝く 勇気に満ちあふれ
悲しい気持ちを 希望に変えてゆく
そんな強い気持ち 築いて行きたいから
すばらしい仲間と 手と手をつないで
ともに進もう 未来に向かって
- ♪ 心にねむってた やさしさ見つけたよ
あなたのやさしさ ぬくもり感じたから
ナルクのまごころ あなたにあげたい
そしてそれがいつか みのりを結ぶから
ありがとうの気持ちを 愛にかえてゆく
はばたけこの愛 そして輝け
- ♪ ナルクのまごころ あなたにあげたい
そしてそれがいつか みのりを結ぶから
ありがとうの気持ちを 愛にかえてゆく
はばたけこの愛 そして輝け



特定非営利活動法人 (NPO法人)

ニッポン・アクティブライフ・クラブ
交野拠点

愛称：ナルク「いわふねクラブ」

〒576-0033 大阪府交野市私市1丁目 1-6-205

TEL 072-800-8141 FAX 072-800-8145

ホームページ <http://ktn-nalc.com/> メール: nalc-katano@alto.ocn.ne.jp